

支部だより

テイクアウトで

子ども食堂を継続

鳳支部

新型コロナウイルス感染症対策として、テイクアウトを併用して取り組んできた子ども食堂。3回目となる緊急事態宣言発出前日の4月24日は、初めてテイクアウトのみで子ども食堂を開催しました。メニューはちらし

寿司、魚など。ほとんどが事前予約の方で、スムーズにお弁当を渡すことができました。

「食堂で食べたかったけど、仕方ないね」「子ども食堂のお弁当、いつも楽しみにしてる」「お持ちかえりだけでも開い



てくれてうれしい」と嬉しい声も。食材の寄付や、寄付金もたくさんい

ただきました。5月はお休みとなりましたが、これからも感染対策に取り組み、子どもたちの笑顔あふれる子ども食堂を再開できるように、今できることを頑張っていきたいと思います。

～歴史や共同組織について～を、事務局長を講師に開きました。支部の様子については、支部長が話しました。いままでも他の班会に参加している人が多く、「友の会」についてしっかり知ってもらえま

泉ヶ丘西支部

「からこ班」誕生 “友の会”を知ってもらった

会場の「からこ庵」は、2015年2月に代表のUさん（会員）が、元同僚から無償で借りた一軒家でオープンしたサロン。視覚支援学校、盲学校の教員たちの支援（資格が生かせる場づく

り）と交流の場です。鍼灸やマッサージ、小物づくり、パソコンなどが、感染対策して行われています（ランチはお休み中）。

4月24日に初めての班会「友の会」って何？

5月（自筆遺言書の書き方）、6月（在宅医療・介護）も班会が計画されています。

また、「からこ庵」も友の会に貸してもらえるので、新しい



また、「からこ庵」も友の会に貸してもらえるので、新しい

介護の現場から ②③

介護事業部

部長 ケアマネジャー 甘田 尚子

避け、滞在は短時間に…と、訪問を制限せざるを得ない状況です。訪問中は、利用者さんやご家族にも、マスの着用をお願ひしています。これは私たちが、万が一でも利用者さんに感染させてはならないための予防策だと思います。

唯一の機会にして待つてくれているご家族と、ゆっくり会話もできない…。思いを傾聴し、寄り添う。今ある問題点に早期に気づき、対応

くすること自体が難しく、お身体に接する介助には細心の注意を払っています。お掃除や調理といった生活援助も、在宅生活を継続するために、「なし」にはできない支援です。暑くても、介助や作業がし難くても、マスクをつけて頑張っています。

コロナに負けず、一緒に乗り越えましょう

毎月のケアマネジャーの訪問を楽しみにしてくれている利用者さんや、介護の悩みや苦勞を包み隠さず話す、訪問看護や訪問介護は、サービス時間を短

デイケアでは、利用者さんが安心して利用していただけるよう、消毒を徹底し、お迎えしています。看護師、セラピス

この間、ケアマネジャーは、コロナ感染予防の観点から、マスクにアイシールドを着用し、対面しての会話は

訪問看護や訪問介護は、サービス時間を短

デイケアでは、利用者さんが安心して利用していただけるよう、消毒を徹底し、お迎えしています。看護師、セラピス

デイケアでは、利用者さんが安心して利用していただけるよう、消毒を徹底し、お迎えしています。看護師、セラピス

2021年4月、介護報酬改定がありました

5つの柱

- ①感染症や災害への対応力強化
- ②地域包括ケアシステムの推進
- ③自立支援・重度化防止の取り組みの推進
- ④介護人材の確保・介護現場の革新
- ⑤制度の安定性・持続性の確保

ト、ヘルパー、ケアマネジャー、介護事業部の職員一同、懸命に感染予防に努め、サービスを提供、継続していきます。皆さんも、コロナに負けず、一緒に乗り越えましょう!!

「私の戦争体験」再開します 戦争体験をお寄せください

これまで多くの「戦争体験」が寄せられ、命の危険にさらされたことや空襲の恐ろしさを伝えた貴重なお話に、多くの反響があります。同時に、日々の暮らしの視点から見る（伝える）戦争体験も掲載していきたいと思ひます。

戦争によって働き手が減り、食べ物に困窮する生活、そして歌も遊びも変わりました。学校も尋常小学校から国民学校となり、教育も標語も戦意高揚、「隣組」という組織ができて大変窮屈になりました。みなさんは灯火管制の時、どんなことをされていましたかー。

このような暮らしにまつわる体験も、お待ちしております。50字、100字の短文でも結構です。字数の指定はありません。より多くの方からの投稿をお待ちしています。（編集委員会）

熱中症に気をつけましょう

暑くなってきました。長引く自粛生活による体力の低下とマスクの着用で、熱中症の危険が高まっています。特にマスクは、体の熱を放出することをさまたげるので、より熱中症になりやすいと言われています。

熱中症は屋内にいても発症します。早めの冷房、こまめな水分補給を心がけてください。

暑い日中の外出はなるべく控え、休養を十分に取り、体調管理に気をつけましょう。

